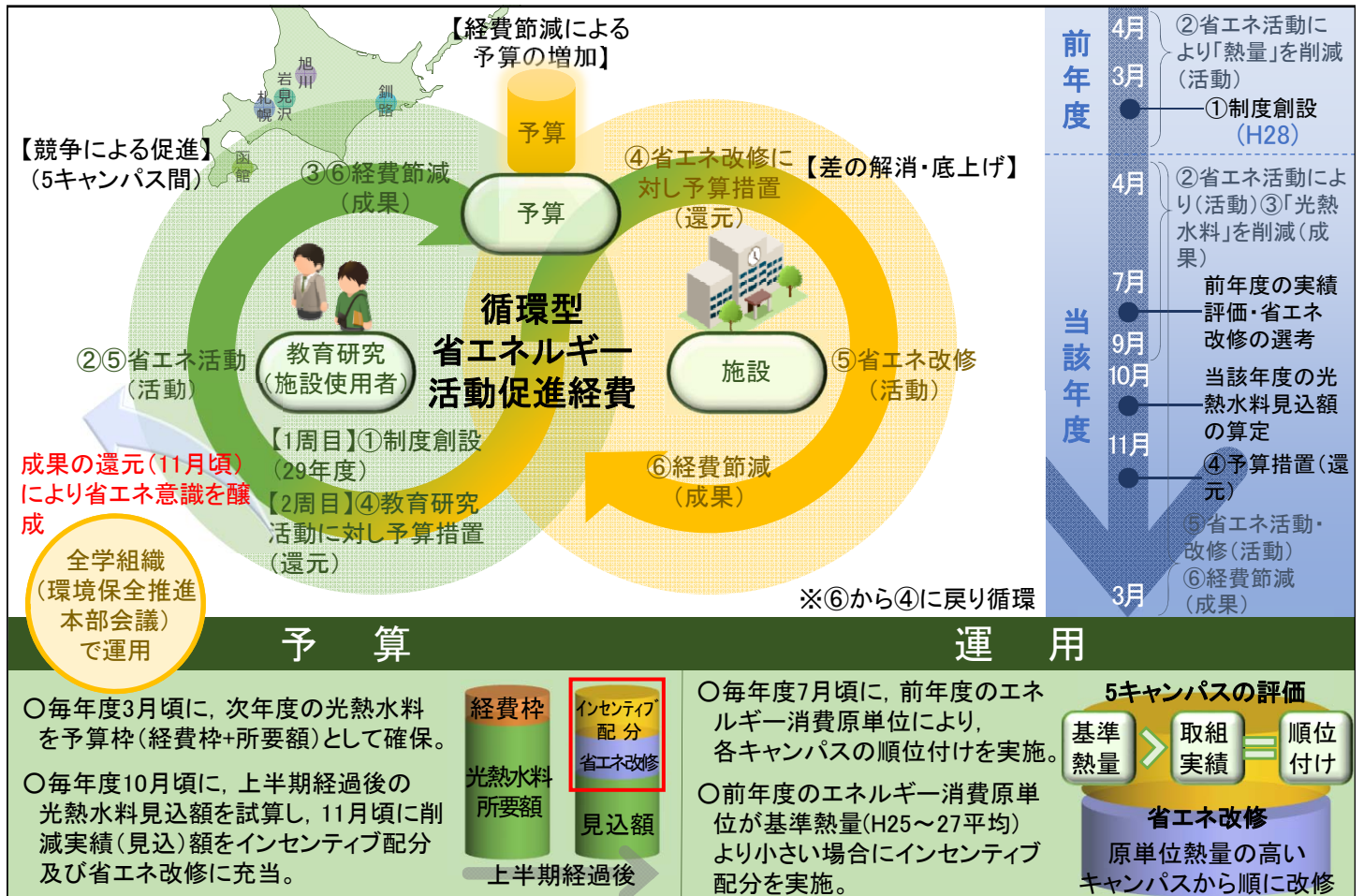


光熱水料の削減相当額を、教育研究と省エネ改修に50:50で還元省エネ活動の達成度にインセンティブを付すことで取組を促進

北海道教育大学の基本情報 (平成29年5月1日現在)

教育系単科大学、北海道内5キャンパス(札幌、旭川、釧路、函館、岩見沢) 4附属学校園(札幌、旭川、釧路、函館)
札幌－釧路キャンパス間の距離は約300km(東京－名古屋間に相当)

■総敷地面積 1,144,246㎡ ■総建築面積 100,541㎡ ■総延床面積 205,280㎡



<事業概要>

北海道教育大学では、「活動」、「成果」、「還元」による循環型省エネサイクルを構築するため、省エネ活動によって削減した光熱水料予算(成果)を、設備の更新及び教育研究活動へ還元する「循環型省エネルギー活動促進経費制度」を平成28年度末に創設し、平成29年度より運用を開始している。

本制度は、省エネ活動による予算の削減実績(見込)額の50%を前年度の削減実績に基づきインセンティブ予算として各キャンパスへ配分し、残りの50%を省エネ改修に充当する。前者のインセンティブ予算は、省エネ活動に対する成果として学生・教職員へ還元することで省エネ意識を醸成し、後者の省エネ改修は、キャンパス間における設備上の差の解消を図ることで、競争性を確保している。

- コメント -

更なる省エネを実現するためには、利用者である学生・教職員の協力が必要不可欠であることから、省エネ成果を利用者へインセンティブとして還元することで、全構成員からの協力を得やすい仕組みとしました。

光熱水「量」の削減だけでは、必ずしもコスト削減とならないことから、契約単価の変動を考慮した予算を計上し、配分する原資の確保に配慮しています。

また、インセンティブ配分対象をキャンパス毎として競争性を持たせました。